

# 平成30年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 畜産安全課  
 担当名: 畜産振興担当  
 内線: 4193

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B23	世界へ飛び出せ!畜産GAP推進事業		一般会計	農林水産業費	畜産業費	家畜保健衛生費	家畜伝染病予防対策費	
事業期間	平成30年度～平成32年度	根拠法令	なし		宣言項目	09 儲かる農業の推進		
					分野施策	040937 強みを生かした収益力ある農業の確立		
1 事業概要			5 事業説明					
<p>我が国で初めて導入された畜産GAPを広く県内畜産農家へ普及し、2020年東京オリンピック・パラリンピックにおける食材調達への参画を目指す。併せて、埼玉県畜産物の輸出促進を図る。</p> <p>(1) 畜産GAP普及・啓発 経費節減に伴う減額 <math>\Delta 685</math>千円</p> <p>(2) 取得支援体制の整備 経費節減に伴う減額 <math>\Delta 1,630</math>千円</p> <p>(3) 輸出支援 経費節減に伴う減額 <math>\Delta 202</math>千円</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 畜産GAP普及・啓発: 農家研修会の開催、取得意向調査等 821千円</p> <p>イ 取得支援体制の整備: 指導員の育成、対象農家の支援、先進地視察等 1,884千円</p> <p>ウ 輸出支援: 研修会・意見交換会開催、商談会への参加等 202千円</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 農家研修会の開催 2回、取得に対する意向調査の実施 600戸</p> <p>イ GAP指導員の育成 6人、GAPに準じた施設整備 5戸、先進事例視察 1か所</p> <p>ウ 輸出に向けた研修会の開催 1回、バイヤー等との意見交換会の開催 1回、商談会参加支援 5戸</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア 飼養衛生管理基準を遵守した家畜の衛生管理の実施</p> <p>イ 食品安全に関する意識の向上</p> <p>ウ 動物福祉に基づく家畜の管理の実施</p> <p>エ 安全な労働環境の整備</p> <p>(4) 県民・民間活力・職員のマンパワー、他団体との連携状況 市町村、畜産関係団体等と連携を図り、取得に向けた農家指導を実施する。</p> <p>(5) 成果目標 GAP取得取組農家数 H29 0戸 → H32 5戸</p> <p>(6) 補正予算の概要 経費節減に伴う減額補正</p>					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)								
3 地方財政措置の状況 普通交付税(単位費用) (区分) 農業行政費 (細目) 食品安全費 (細節) 家畜保健衛生費								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×3.5人=33,250千円								
予算額		財源内訳					一般財源	補正後の 予算額
決定額	$\Delta 2,517$	国庫支出金	$\Delta 1,283$				$\Delta 1,234$	390
現計額	2,907		1,283				1,624	